

令和8年度リウマチ月間リウマチ講演会 プログラム(案)
 ~多職種連携でつくるリウマチ診療の未来~

主催:公益財団法人日本リウマチ財団
 実行委員長:中川 夏子(日本リウマチ財団理事/兵庫県立加古川医療センターリウマチ膠原病センター長)
 開催形態:ハイブリッド形式(東京国際フォーラム・Web開催の併用)

開催日		令和8年7月5日(日)		
会場		第1会場(ホールD7)	第2会場(ホールD5)	
当財団の研修会を兼ねた講演会Ⅱ				
時間	演題	座長・演者	座長・演者	
9:27-9:30	開会の辞 令和8年度リウマチ月間リウマチ講演会実行委員会委員長 中川 夏子			
9:30-10:30	【財団セミナー1】 高齢化社会におけるリウマチ診療 -フレイル・依存疾患・生活支援を含めて、職種間連携をどうするか- ①骨粗鬆症を中心に ②フレイル・依存疾患を中心に ③理学療法士の立場から (看)2-1・2-2・2-3 (薬)2-1・2-2・2-3 (理・作)2-1・2-2・2-3	座長:村澤 章 (新潟県立新発田病院リウマチセンター 名誉院長) 演者①:田中 栄 (東京大学大学院医学系研究科整形外科学 教授) 演者②:多田 昌弘 (大阪市立総合医療センター整形外科 医長) 演者③:島原 範芳 (道後温泉病院リウマチセンターリハビリテーション科 副科長兼係長)	【スポンサードセミナー4】 若年性特発性関節炎治療における多職種連携 (看)2-1・2-2・2-3 (薬)2-1・2-2・2-3 (理・作)2-1・2-2・2-3-1 共催:日本イーライリリー株式会社	座長:瀧美 達也 (北海道大学大学院医学研究院免疫・代謝内科学教室 教授) 演者:森 雅亮 (東京科学大学新産業創生研究生涯免疫医療実装講座 教授)
10:30-11:30	【スポンサードセミナー1】 ①なぜシェーグレン病は“つらい”のか :病態とエビデンスから考える疾病負担 ②シェーグレン病を見逃さないために (看)1-2・2-2・3-2 (薬)2-1・2-2・3-2 (理・作)1-2・2-2・3-2 共催:ノバルティス ファーマ株式会社	座長①:川野 充弘 (金沢医科大学血液免疫内科学 臨床教授) 座長②:東 直人 (兵庫医科大学糖尿病内分泌・免疫内科学 准教授) 演者①:小澤 廣記 (聖路加国際病院リウマチ膠原病センター) 演者②:鈴木 康倫 (福井赤十字病院リウマチ・膠原病内科 副部長)	【スポンサードセミナー5】 関節リウマチの肺病変 (看)2-1・2-2・3-1 (薬)2-1・2-2・3-1 (理・作)2-1・2-2・3-1 共催:日本ペーリンガーインゲルハイム株式会社	座長:松原 司 (松原メイフラワー病院 院長) 演者:田中 彩絵 (獨協医科大学リウマチ・膠原病内科 助教)
11:30-11:40	休 憩			
11:40-12:40	【ランチョンセミナー1】 リウマチ性疾患へのアプローチ~チーム医療の実践と重要性~ ①リウマチケア看護師が担うSDMの未来~関節エコーで広がる可能性~ ②リウマチ性疾患治療の最新治療戦略:-早期診断と連携強化を中心に- (看)1-1・2-1・3-3 (薬)1-2・2-1・2-2 (理・作)1-1・2-2・3-1 共催:ユーシービージャパン株式会社	座長:田村 直人 (順天堂大学医学部膠原病内科 主任教授) 演者①:岡田 めぐみ (しんとう整形外科・リウマチクリニック リウマチケア看護師) 演者②:猪飼 浩樹 (中部ろうさい病院リウマチ・膠原病科 副部長)	【ランチョンセミナー2】 関節リウマチ診療のこれから:医療経済とアウトカムから再考する (看)2-1・2-2・2-3 (薬)2-1・2-2・2-3 (理・作)2-1・2-2・2-3 共催:サンド株式会社	座長:中川 夏子 (兵庫県立加古川医療センター リウマチ膠原病センター長) 演者:川人 豊 (京都府立医科大学大学院医学研究科免疫内科学 病院教授)
12:40-12:50	休 憩			
12:50-13:50	【スポンサードセミナー2】 ①関節リウマチと共に生きていく、あなたへ -患者さんの人生に寄り添うということ- ②RA初期治療を支えるMTX皮下注射療法 -知っておきたい基礎と実践- (看)2-1・2-3・3-1 (薬)2-2・2-3・3-2 (理・作)2-1・2-2・3-4 共催:エーザイ株式会社/日本メダック株式会社	座長:富田 哲也 (森ノ宮医療大学大学院保健医療学 教授) 演者①:手塚 薫 (聖マリアンナ医科大学 看護師) 演者②:吉玉 珠美 (霧島リウマチ膠原病クリニック 院長)	【スポンサードセミナー6】 チームで挑むリウマチ治療:IL-6阻害薬の役割と可能性 (看)2-1・2-2・2-3 (薬)2-1・2-2・2-3 (理・作)2-1・2-2・2-3 共催:旭化成ファーマ株式会社	座長:望月 猛 (鎌ヶ谷総合病院整形外科・リウマチ科 副院長) 演者:平野 裕司 (豊橋市民病院リウマチ科 部長)
13:50-14:50	【スポンサードセミナー3】 ①医療連携が織りなすミライへー処方箋問い合わせ簡素化から始まる、医療DXの歩み- ②変化し続けるRA診療 -オゾラリズマブをどう活かすか- (看)1-2・2-1・2-3 (薬)2-1・2-2・2-3 (理・作)2-1・2-2・3-2 共催:大正製薬株式会社	座長:池田 啓 (獨協医科大学医学部リウマチ・膠原病内科 主任教授) 演者①:小林 政彦 (大阪赤十字病院 薬剤部長) 演者②:平野 史倫 (国立病院機構旭川医療センター消化器内科 診療部長)	【スポンサードセミナー7】 バイオシミュレーションによる早期治療強化への期待 (看)2-3・2-4・3-1 (薬)2-2・2-3・3-1 (理・作)2-1・2-2・2-4 共催:セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社	座長:大音師 澄子 (国家公務員共済組合連合会斗南病院 薬剤師) 演者:平田 一耕 (亀田クリニック 薬剤師)
14:50-15:00	休 憩			
15:00-16:00	【財団セミナー2】 多職種連携で支えるリウマチ診療の現在地 -ガイドラインと現場をつなぐチーム医療- ①リウマチ専門医の立場から・ガイドラインも含めて ②看護師の立場から (看)1-2・2-3・3-1 (薬)1-2・2-1・3-1 (理・作)1-2・2-1・3-1	座長:仲村 一郎 (日本リウマチ財団 評議員) 演者①:針谷 正祥 (山王病院 内科部長) 演者②:植田 美和 (地域医療機能推進機構相模野病院 副看護部長)	【スポンサードセミナー8】 関節リウマチ病態と個別化医療 (看)2-2・2-3・3-4 (薬)1-1・2-3・3-2 (理・作)1-1・2-2・3-1 共催:アヴィ合同会社	座長:三浦 靖史 (神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学領域運動機能障害分野 准教授) 演者:押領司 健介 (六本松リウマチ膠原病クリニック 院長)
16:00-17:00	【財団セミナー3】 治療が安定したリウマチ患者をどう支えるか -就労・ライフイベントを見据えた多職種連携- ①医師の立場から ②看護師の立場から ③社会福祉士の立場から (看)2-1・2-3・2-4 (薬)2-1・2-4・3-1 (理・作)2-1・2-4・3-1	座長:村島 温子 (妊娠と薬情報研究会 理事長) 演者①:中島 亜矢子 (三重大学医学部附属病院リウマチ・膠原病センター 教授) 演者②:永井 薫 (小早川整形リウマチクリニック 看護師) 演者③:新名 早希子 (倉敷スイートホスピタル地域ケアセンター センター長)	【財団セミナー4】 多職種で支えるリウマチ手術 -機能維持と生活の質を見据えて- ①リウマチ外科医の立場から ②作業療法士の立場から (看)1-2・2-4・3-2 (薬)1-2・3-1・3-3 (理・作)1-2・3-1・3-4	座長:門野 夕峰 (埼玉医科大学大学院臨床医学研究科整形外科学 教授) 演者①:岩本 卓士 (慶應大学医学部整形外科学教室 准教授) 演者②:榎田 里恵 (丸太町リハビリテーションクリニック 作業療法士)
17:00-18:00	【財団シンポジウム】 多職種連携でつくるリウマチ診療の未来 -現場の実践から次の一歩へ- (看)1-1・2-1・3-1 (薬)1-1・2-1・3-1 (理・作)1-1・2-1・3-1	司会:高林克己 (千葉大学名誉教授/三和病院顧問) シンポジスト①:亀田 秀人 (東邦大学医学部内科学講座膠原病学分野 教授) シンポジスト②:小嶋 俊久 (国立病院機構名古屋医療センター 副院長) シンポジスト③:房間 美恵 (関西国際大学保健医療学部看護学科 准教授) シンポジスト④:辻村 美保 (コミュニティーホスピタル甲賀病院薬科)		
18:00-18:03	閉会の辞 令和8年度リウマチ月間リウマチ講演会実行委員会委員長 中川 夏子			

*日本リウマチ財団リウマチ専門職制度研修カリキュラムコード番号 (看):看護師、(薬):薬剤師、(理・作):理学療法士・作業療法士